



## 魚には耳があるの

### 魚は耳をもっている

魚は、人間にあるような耳たぶや耳の穴がありません。でも、耳はもっています。魚の頭の骨の中に、内耳とよばれるものがあります。内耳には、リンパ液が詰まったふくろとカルシウムの石があり、遠くから伝わってくる水中の音のゆれ(しん動)で、魚は音を感じます。魚の種類によっては、うきぶくろに音をひびかせて、それを内耳に伝えるものもいます。

### 側線で、水中の音の動きをとらえる

魚の体を横から観察すると、多くの魚で、頭からしっぽまでを結ぶ線のようなものが、体の両わきの真ん中を通っています。くわしく観察すると、えらの所からしっぽにかけて、うろこに点線のようなものが見えます。これは、側線とよばれるもので、水の流れや、水の深さの変化を、すばやく感じとる役目をしています。近くの音(水のゆれ)は、この側線ですぐ感じとることができます。

魚は、体のいろいろな所で、音を聞きとっているといえます。(監修・安部 義孝)

